



墮天






私の日頃の行いに
煮えを切らした
天人達が比那名居家の
仕えている名居家に
圧力をかけた



そして結婚の前に
既成事実を作る為に
この名居の息子と
こんな所に来てきたのだ



結果、
名居家に嫁入りする事になった
そうしてしまえば
大人しくなると思っただろう



ぐいっ

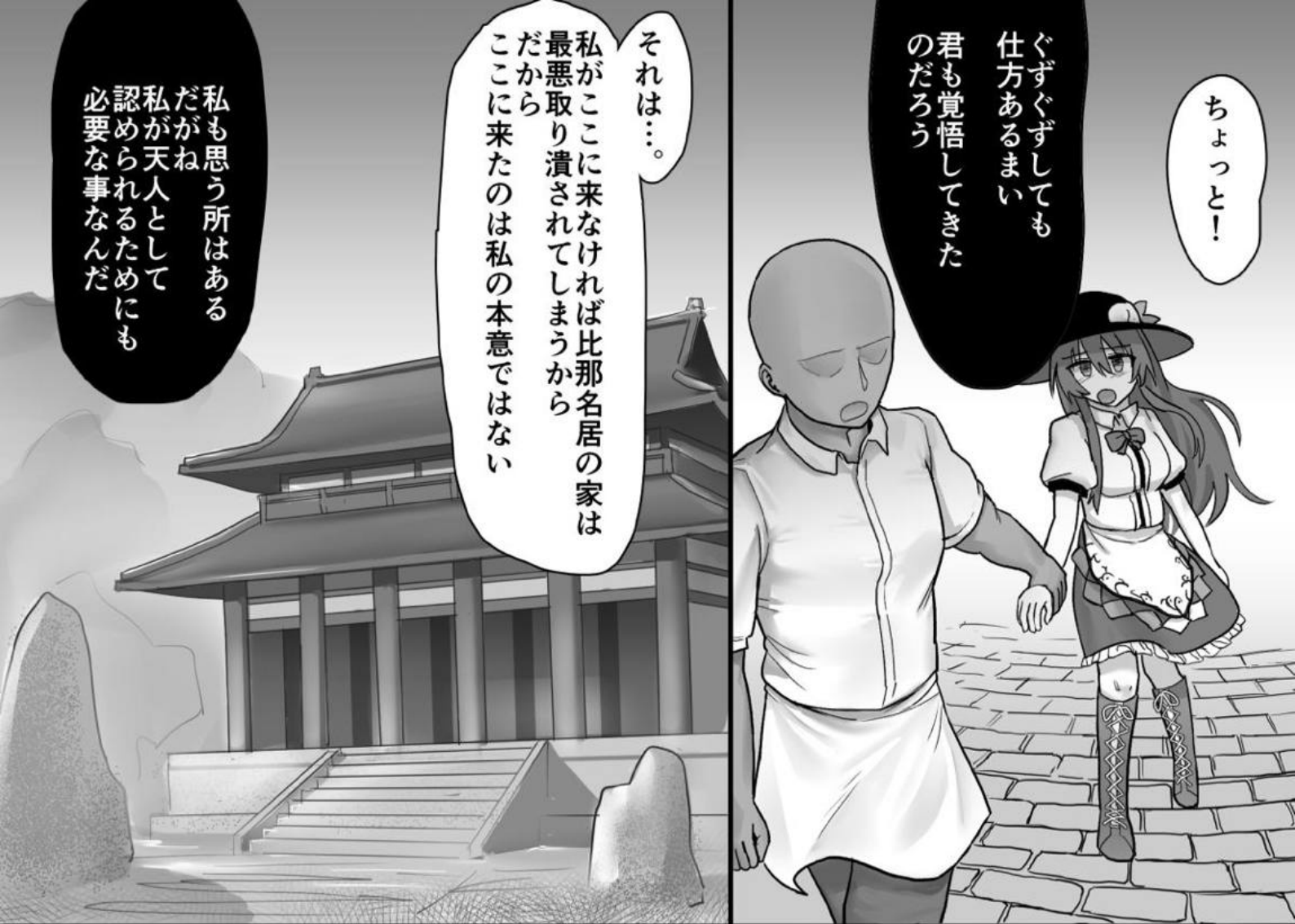
ちよっと！

ぐずぐずしても
仕方あるまい
君も覚悟してきた
のだろう

それは…。

私がここに来なければ比那名居の家は
最悪取り潰されてしまうから
だから
ここに来たのは私の本意ではない

私も思う所はある
だがね
私が天人として
認められるためにも
必要な事なんだ



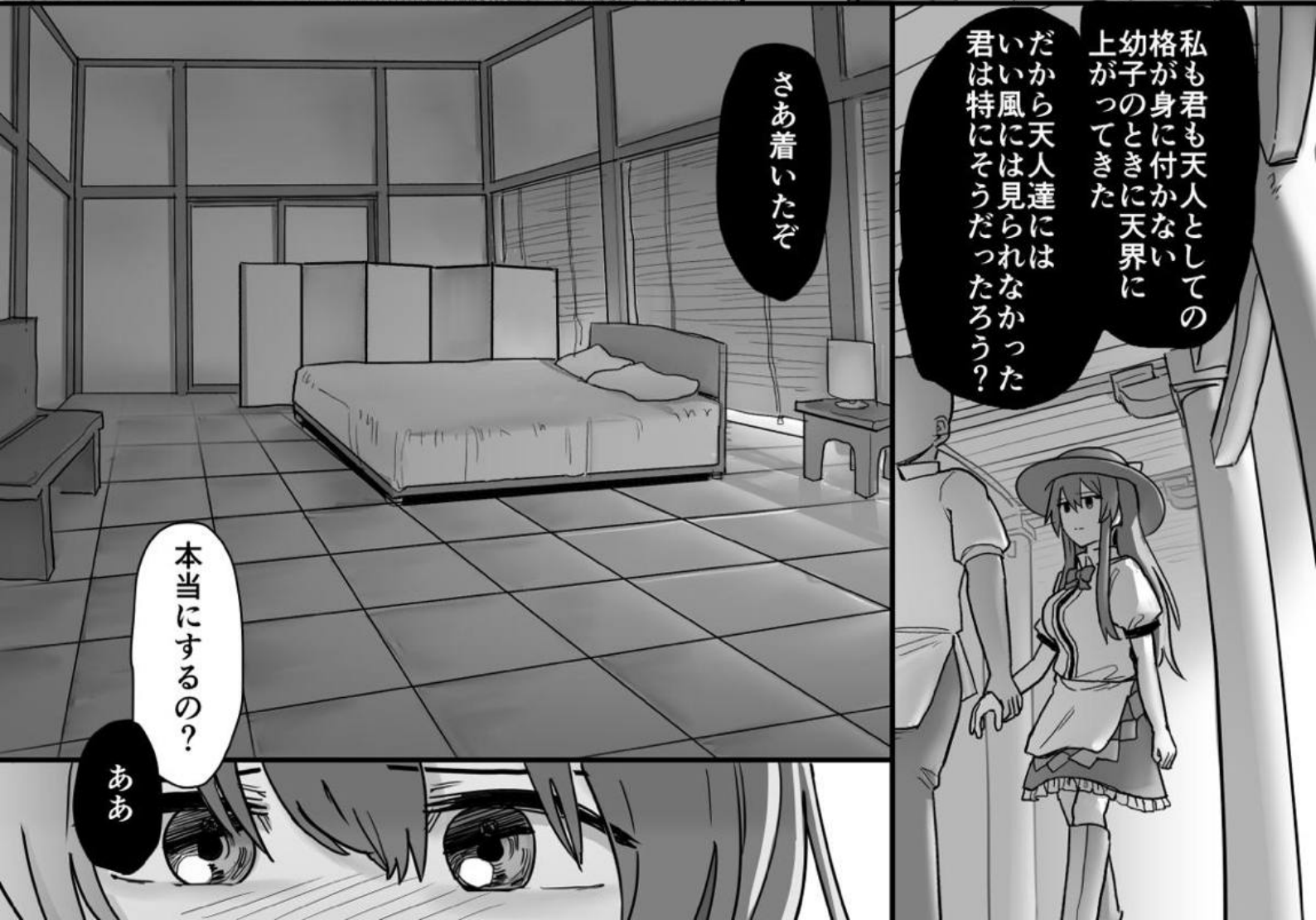
私も君も天人としての
格が身に付かない
幼子のときに天界に
上がって来た

だから天人達には
いい風には見られなかった
君は特にそうだったろう？

さあ着いたぞ

本当にするの？

ああ





やめて

じゅあ

私はまだそんな気分にはなれない

それに……



なっや

その気になるしかあるまい
覚悟を決めて
今はせめて
楽しもうじゃないか



やめ

今すぐにもここから
逃げ出したい
でもそんなことしたら……

ああの

もじゅっ

もじゅっ



数十分後……

いつまで触って……

あ、
まずいっ
もう
イきまっ……

くは、

くは、

わっ

あ！！

ビュッ
ビュッ
ビュッ

ッ！！

ビュッ

ビュッ





むう
妻となるものの願い
聞かぬ訳にもいくまい

だが何もせず帰っても
親達は納得はしないだろう

まあ少しの誠意を見せて
くれればうまく取り計らって
やらんでもないが

誠意？

できることなら
やるから...

これほんとに
しないとイケないの？

やらなきや
意味無いよ

ピンッ

ビ

ッ



わかったわよ……

どうした？
誠意を見せてくれ
お前の家の事も
あるだろう？

なっ
入れるだけ
でも危ないけ
でしょいっ

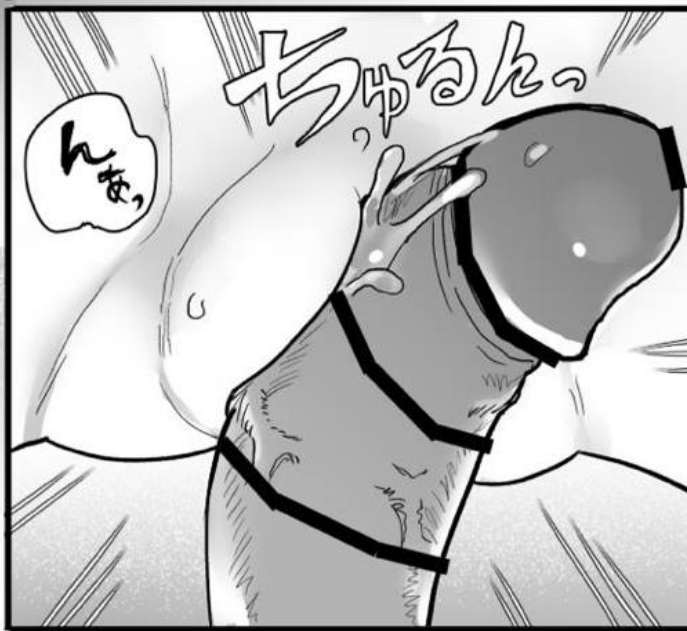
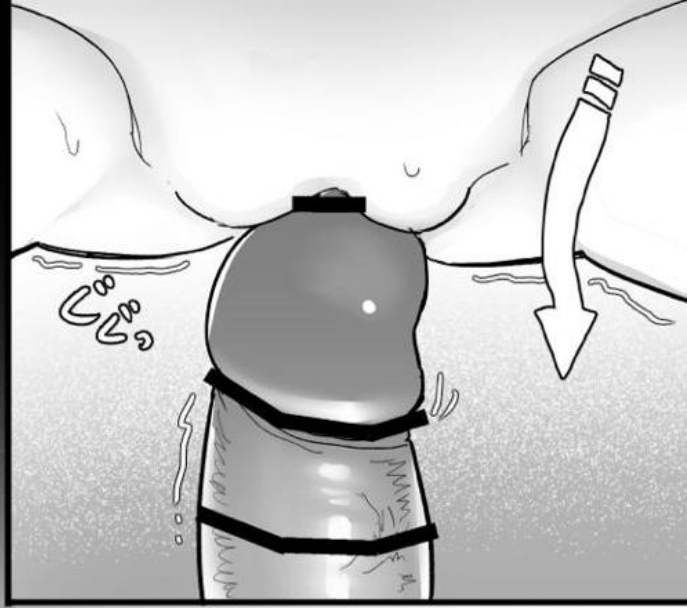
根元まで入れる
ピストン20回
できたならうまく
取り計らっておいてやる



絶対
出さないでよね

ぶわ
ぶわ

でも
そもそも
こんなの入るの？





はあ

えっでも
もう入らな...



えっまだ
こんな...

まだ根元まで
入ってないけど？

ぎゅっ



もうやめてもいいんだぞ？
お前の家はどうなっても知らんが

わわわわわわわわわ
やるからっ!!

これでもできない
あれもしない
いつまでわがままを
通すつもりだ？

ぐゅっ



ぐんぐん!!
んんん!!
ぶっ!!

ズ
ググ

ぐん

グ
グ

はぁあ!!

ぱ
ちゅ
ん



はぁ
あ

よし
折り返し地点だぞ

内蔵全部
押し上げられてるっ
苦しいっ

あ
ん

ん

ん



残り15回



残り10回



残り5回





足...もう限界っ...

ガクガク

んおお?!
!!!

ハキョウッ

カクッ

ゴッ



入っちゃってるッ
ダメなとこにッ

はっ

ビクッ

っあ

ちゅ
ちゅ



やばっ
挿かしてる

ゲキッ

やばっ
挿かしてる
!!!

ひゅひゅ...

足に
カメッ...



ピクッ

パキッ

パキッ

挿かしてる

あああああ
やばっ 挿かしてる
あ

やばっ

パキョッ

必死に
腰を振って
いるが
ちやんと
抜かないと
カウント
しないぞ?



カッパッ

しゅん



じぶん じぶん

んんん

ぐぐぐ

びん



あーし
あと4回だ
ハンパレ



おんんん!!!
ズズズ

Yes
ズズ

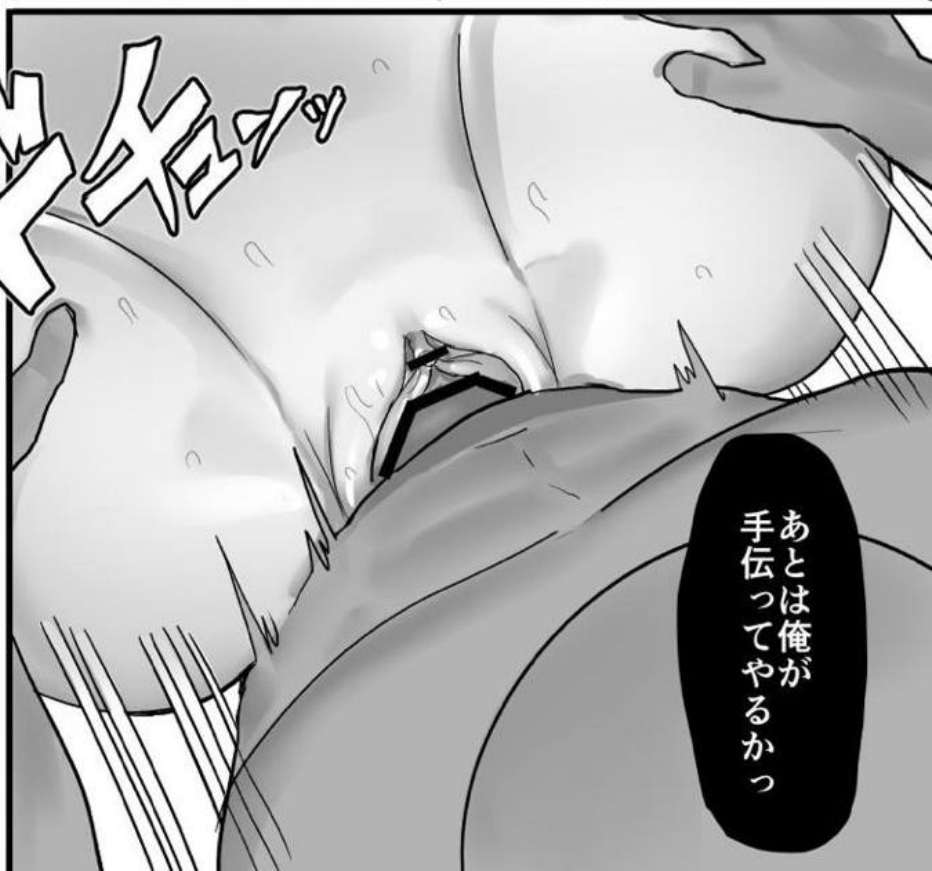
のびちまったな
ここまでよく
がんばったが

約束は約束
だしなあ

しょうがないな

ピクピクッ ヽ

ムムムム ピクッ



あとは俺が
手伝ってやるかっ



まっ
なんであ
話しが違
うっ

そん
な
ば

安心しろ
これはお前
がのびちま
ってだから
残りを手
伝ってや
ってるだ
けだ

ず



どっちゅ
から、
イッてる
あ

やめし
抜い
あ

がく
がく

2...

3...

1...

ほお
おま
あま
!!

ラストっ

ぎ



きゅん

おわった...?

きゅん きゅん きゅん

ぐう：締め付けるな
抜けないぞっ
そろそろ限界だっ

あえっ

はあ、あ



あ、なんでも早く挿しな

そんな中に出して欲しいなら出してやるよッ

あ、なんでも早く挿しな

そんな中挿して

長く激しい行為によって
疲弊した天子の身体は
本人の意志に関係無く
肉体が求めるままに
動いていた

「子を孕まねばならぬ」と
「この男根を離してはならぬ」と

中絶は絶対だから!!



きゅん

あ、なんでも早く挿しな



天人であるため
数百年隠してきた
雄の欲望は知らず
留まる事を知らず
数分間の天子の中
射出され続けました





おん

ビョッ

あ
あ
あ

クアッ

びゅ

びゅ

お
ク
ク

おん

ク
ク
ク

ク
ク

とほほほ

その凝縮された欲望の
爆発は天子の身体に
到底納まりきる
ものではなかった。

お前が離して
くれないから
だしてしまっ
た
じゃないか

5 発目

んんん、

びる

ちゅる

びびり

びびり

ぐいっ

あが!!

一度出してしまったら
もう約束もないだろ?

変に畏まらずに
愛し合おうじゃないか
なあ天子?

ちゅ

んんん

びり

んんん

びり

びり



あゆふ、♡

あゆふ♡

あゆふ、

あゆふ

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ、

あゆふ

20 発目

あゆふ、♡

あゆふ、♡

これで我らは夫婦だな
これから毎晩
はめ倒してやるからな
嬉しく思え

コホ...

永く退屈な天人の生活にも
ようやく楽しみができたな
おまえもそうだろう？

あ、
ひゃー♡

毎晩...?
あは♡

-HAPPY END-